

三重県産コシヒカリ

■ 早期栽培の定着

台風被害を回避する方法として始まった早期栽培は、夏～秋に被害が集中しやすい海外飛来性害虫による加害を回避することができ、減農薬栽培も可能な栽培方法で環境にやさしい栽培法として定着しています。



西日本 No.1!

三重県は、良質米コシヒカリの早期栽培により全国でも有数の早場米の生産量を誇り、新米のおいしさをいち早くお届けしています。

■ 三重県のコシヒカリ

全国でも2番目に奨励品種として採用し、今では三重県を代表する銘柄として県下全域で広く栽培されています。良質で、甘みが強く、冷めてもおいしいことから人気のある品種です。



■ 伊賀コシヒカリ

伊賀は、かつて琵琶湖の湖底にあったことから重粘土地帯を形成し、米作りに適した土壤とされています。内陸性気候で日較差が大きいことから県内でも特に良質米の産地として知られています。